



# Zikomo kwambiri!



ジ コ モ

ク ワ ン ビ リ

## 中間報告をしました!

Muli Bwanji(ムリブワンジ)? 先日 JICA Zambia 事務所にて中間報告を行いました。中間報告会では1年間で行った活動やその上で見えてきた今後の課題や活動計画について英語でプレゼンをします。プレゼン資料を作成する上で改めて自分の活動を振り返る良い機会となりました。また一緒にザンビアに来た同期たちの報告を聞いて自分も改めて頑張らない!と良い刺激をもらいました。いつも同期たちからは活動のアイデアをもらったり、イベントを企画したときには手伝ってくれたり、一人じゃないのだ!と思えます。心強い同期が世界中にいるということもまた、協力隊の魅力なのだなと思いました。

## ありがとう thank you、手話で国際交流!



前回紹介した日曜学校に同期隊員と同期隊員を訪れ日本からはるばる来てくれていた彼女の叔母さんが遊びに来てくれました!同期隊員の叔母さんは日本で社会福祉関係のお仕事をしており、日本語での手話ができます。教会に来ていた聴覚障害を持つ子どもたちや同僚も、日本ではどうやってやるの?と日本の手話に興味津々です。「ありがとう」「名前」「お父さん」「お母さん」「可愛い」「同じ」などの単語を紹介し合いました。全然違う動作もあれば、「好き」など似ている動作の単語もあり、私自身もとても面白かったですし、勉強になりました!

次の日の聴覚障害 5 年生クラスの英語の授業中に、「星」という単語が出てきて、その動作が可愛かったので、日本語で日本語の手話とともに「え~可愛い」と言ったら、子どもたちは「可愛い」を覚えていて、大喜びでした!(笑)

最近では日本の聾学校と連携し、日本とザンビアでは同じ単語をどのような動作で表すのか紹介し合うビデオレターの交換を始めました!第一回目は自己紹介です。子どもたちは日本語での手話にとっても興味がありますし、覚えもとても早いです!ザンビアの人たちは英語、ニャンジャ語、ベンバ語など、マルチリンガルな方が多いのですが、聴覚障害があったとしても言語への興味の高さや堪能さは同じなのです。



## 新学期がスタートしています!



さて、9月からザンビアの学校は新学期が始まりました。いつものことですが、ザンビアはスロースタート。10月に入ってやっと体制が整ってきたように感じます。今学期のクラスは自閉症、ダウン症、脳性麻痺などの障がいを持つ子どもたちが在籍するレベル1・2の複式クラスを担当しています。在籍数が併せて30人以上いるので、とても大変ですが、子どもたちが何か一つでもできるようになることが増えるように、日々試行錯誤しています。

今回は赴任当初課題だった、子どもたちそれぞれのレベルに合わせた個別の学習に力を入れて授業をしています。朝の始業前に一人ずつ数の数え方の復習をしたり、子どもたちがひとりでもできるアクティビティをしている間に重点的に一人一人と向き合ったり。クラスコントロールをしつつ個別の対応を30人以上に行うことは容易ではありませんが、焦らず少しずつ自分と子どもたちのペースでやっていきたいです。



一人一人が集中して取り組める+手先を使う練習ができるアクティビティを。その間に個別対応!  
座席を指定し机の配置を個別対応がしやすい形に変更!

## Explore Zambia —Lower Zambezi—

ザンビアの観光情報、今回はおすすめの国立公園、Lower Zambezi を紹介します!ザンビアの三大国立公園のうちの一つで、首都ルサカからは車で約4時間の場所にあります。サファリは朝の5時半から15時まで一日かけて行いますが、迫力がありあつという間でした!ローワーザンベジの魅力は何と言ってもたくさんのゾウとカバが近くで見られること!宿泊したロッジからボートで川を下り公園に行くことも他の国立公園と違って楽しいです。私たちが訪れた時にはラッキーなことにライオンとレオパードの食事シーンをはじめハイエナ、バッファローなども見ることができました!そして夜には満天の星空の下で焚火を楽しむことができます。天の川が普通に見られるなんて信じられますか?

